



ちとせエコ通信

えこつう

第19号

平成27年3月

発行:千歳市



千歳市エコ商店

「ECOちとせ」認定事業所 中山建設株式会社

環境配慮の取組に
ついてお聞きしました

■ 「ECOちとせ」8年目!

今回は「ECOちとせ」が発足した平成19年8月に認定登録を受けた中山建設株式会社の取組をご紹介します。

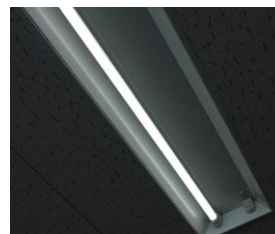
中山建設株式会社は、大型建築物の施工管理、道路の新規工事等を主な業務とする、創業60年を超える老舗の建設会社です。社屋は平成4年に千歳市清水

町から豊里2丁目に移り20年以上が経過していますが、社員の皆さんの心がけにより、きれいな状態で使われています。

長年、「ECOちとせ」の取組をしていて、良かった点は?とお聞きすると「社員の省エネ意識が培われたことと、経費削減の効果があったこと」とのことでした。

■ 電気使用量の削減

まず、LED照明の導入については3.2年で初期費用を償却する計画とし、年間のCO2排出量は導入前の約半分になると計算しました。そして、平成24年11月に設置工事を行い、事務室の照明を間引き点灯ができるよう2本点灯のところ1本のみでも点灯



可能な機器とし、玄関等の照明もLED電球に替えました。

その結果、全体の電力使用量での比較となりますが、平成24年度は約26,500kWhあったものが平成25年度には約4,500kWh少ない約22,000kWhに削減されました。

また、サーバーを更新する際は小型化した省電力のものを選定していましたが、昨年は3台あったサーバーのうち1台をクラウド化することにより、電力使用量をさらに減らす取組をしています。

社員のアイデアが取組に結び付いた例もあります。社屋には駐車場用防犯灯が2灯設置されていますが、光が届く範囲に車を集めて止めると1灯だけでよいのではないかとアイデアが出され、やってみるとうまくいったため現在も続けています。



電化製品を活用しています



電気ケトルで飲む分だけ、その都度沸かします

サーキュレーターで室内の温度差をなくし、空調の効率UP!



実験

ちょっとやってみました

その他の取組では、夏は窓を開けて事務室内に空気を入れ、だんだん暑くなってきて我慢できなくなった人が周りに声掛けをして窓を閉め、冷房を入れるようにしています。冬は裏口から隙間風が入り暖房に影響が出ていましたが、4年ほど前に風除室を設置し暖房効果の改善を図り、電力使用量の削減に役立っています。

■ 環境等への配慮

建築業・土木業ということで、工事現場では近隣に配慮し、騒音防止はもちろん、現場を囲む一般的な背の高いフェンスの一部に、同じ高さのクリアフェンス（透明な板）をつなげ、中の様子が見えるようにし、近隣住民の不安を取り除く配慮もしています。

工事以外では、社の方針で商店街の美化清掃や植樹・間伐等に参加し、地域の環境を良くする取組も行っています。



■ 今後の取組

中山建設株式会社では、このように色々な取組を行い、「ECOちとせ」の取組当初から電力使用量とCO2排出量のいずれも削減することができました。そして、最近では冷房装置の働きが悪くなってきたことから、装置の更新を考えているとのこと。更新後はさらなる電力量削減が期待できそうです。

省エネへの取組は、社長の強いリーダーシップと社員のアイデアや実行力に支えられ、無理なく行われていると感じました。

こんな取り組みもしています

ビンと缶のごみ箱の近くに容器を置き、ペットボトルのキャップやリングプルを集めて福祉団体に寄付をしています



ある日、もらった『自然気化式加湿器』を見ながら「これってどのくらい効果があるんだろう？」と、係で話題になり、早速試してみることにしました。使用したのは、容量が340mlのコップと170×345mmのフィルターがセットになっている、卓上用のものです。

■ 結果

10 cm・30 cm・190 cmの位置に温湿度計を置き、計ってみたところ、次のようになりました。

各位置での計測値(11月～3月)

位置	10 cm	30 cm	190 cm
湿度	54～36%	50～32%	49～28%



各位置での平均値(11月～3月)

位置	10 cm	30 cm	190 cm
湿度	44%	37%	37%

※いずれの表も勤務日の16時～17時に計測。

上記の期間中、月別で一番湿度が高かったのは11月で、一番低かったのは12月でした。10 cm位置の湿度が40%以下になり、机の上の温度が24℃未満になると寒く感じます(事務室2人の個人的感想です)。

また、毎朝、コップ9分目くらいまで水を入れると、翌朝には2分目程度まで水が減っていましたので(日によって多少差があります)、一日あたり $340\text{ml} \times 0.9 \div 10 \times 8 = 244.8\text{ml}$ の水が蒸発していることになります。

今回使用した加湿器の効果はごく狭い範囲であり、枕元に置いて就寝中の喉の乾燥を防ぐ、空気の出入りが少ない小さな部屋を加湿する等の使用方法が適しているのではと推測されました。

[計測は市販の家庭用温湿度計を使用しておりますので、結果は参考程度です。自然気化式加湿器すべてにあてはまるわけではありませんので、ご了承ください。]

循環型社会形成への取り組み



☆市による資源物の回収

使用済み小型家電

小型家電製品には、金・銀などの貴金属やレアメタルなどの有用金属が含まれています。「小型家電リサイクル法」に基づき、資源リサイクルの推進などを目的として平成26年4月から始めました。

テレビなど家電リサイクル法の対象品目を除いて、専用回収ボックスの投入（40cm×45cm）に入る大きさの家庭から出た使用済み小型家電を、各コミセンなどの施設で拠点回収並びに環境センターへの持込みによる回収を行ってリサイクルしています。

プラスチック製容器包装

商品を包んでいたプラスチック製の容器や包装物を週に1回（農村地区は月に2回）収集し、資源としてリサイクルしています。

4種資源物

ペットボトル、トレイ等発泡スチロール、びん、空き缶の4種類の資源物を週に1回（農村地区は月に2回）収集し、資源としてリサイクルしています。

☆市民団体等による資源物の回収

家庭用廃食用油

千歳消費者協会では、家庭から出る使用済みの天ぷら油などの食用油（廃食用油）を各コミセンなどの施設で専用ボックス回収しています。回収された廃食用油は、バイオディーゼル燃料（BDF）としてリサイクルする取り組みを行っています。

ペットボトルのキャップ

愛キャップ市民回収運動実行委員会では、ペットボトルとは材質が異なり「燃やせないごみ」となるキャップを各コミセンなどの施設で専用ボックス回収しています。

古衣料

（公財）ちとせ環境と緑の財団では、素材にかかわらず衣類や衣料品全般、古布を各コミセンなどの施設で専用ボックス回収しています。回収された古着・古布は、主に工業用ウエス（雑きん）などにリサイクルしています。

割り箸

千歳消費者協会では、家庭で使われた割り箸を各コミセンなどの施設で専用ボックス回収し、紙などにリサイクルしています。

※ **家電リサイクル法の対象品目**とはテレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコンです。廃棄する際にはリサイクル料金が掛かり、また、運搬を依頼する場合には収集運搬料金も掛かりますが、適切に処理する必要があります。



編集後記

- ▼ 中山建設株式会社のご担当者様には、色々とお世話になりました。取材日は寒い日でしたが、事務室は快適でした。
- ▼ 最近では、将来へ向けて持続的発展が可能な循環型社会を形成するために、民間会社での多種多様なリサイクルの取り組みも増えていますので、社会全体の更なる資源循環の推進に期待しています。

編集・発行：千歳市 市民環境部
環境課省エネ推進係 電話：24-0590
e-mail: shoene@city.chitose.hokkaido.jp
廃棄物対策課資源循環推進係 電話：23-2110
e-mail: haikibutsutaisaku@city.chitose.hokkaido.jp